

## ●江戸時代後期農業体験とGEO 寸劇の開催

福部未来学園 5 年生児童 20 名「砂丘乾燥地研究センター見学」「福部湯山地区に残る川戸で足踏み水車・千歯こき・唐箕体験」をしました。

江戸時代後期に宿院義般が行った湯山池の干拓事業を 12 月に 10 分程度の寸劇を町民の前で披露しました。

[日時]： 2021 年 10 月 22 日（金曜日）・ 12 月 4 日（土曜日）

[場所]： 砂丘乾燥地研究センター・福部町湯山の川戸多鯰ヶ池南側湖畔／福部コミュニティセンター

[内容]： 鳥取市市民町づくり事業補助金で福部未来学園の特別教科「みらい」の校外学習と 12 月に時代衣装にきて寸劇をしました。

### 砂丘乾燥地研究センター見学



## 江戸時代後期農業体験

### 「足踏み水車体験」



### 「千歯こき体験」



「唐箕体験」



いなばびよんぴよんネットテレビ放映（動画はホームページの動画一覧からご覧ください）



日本海新聞ニュース（動画はホームページの動画一覧からご覧ください）



日本海新聞記事

(19) 広 域 2021年(令和3年)11月10日 水曜日

# 「昔は大変だったんだな」

福部未来 千歯こきなどで脱穀体験

鳥取市福部町の地形の変遷や農業の歴史を学ぶ授業が、同町内であった。福部未来学園の5年生20人が江戸中期から昭和初期に使われた農機具で脱穀作業を体験。さまざまな道具を使っ

て、千歯こきの歴史を学んだ。先人の労苦に思いをはせる探究学習の一環。江戸中期に発明された千歯こきは、町内の農家に残っていたものを同委員会が借り受けた。児童がくし状の鉄の歯に稲穂を挟んで勢いよく引き抜くと、もみだけがパラパラと落下。また「唐箕」と呼ばれる農機具を使い、脱穀したもみに付いた稲の葉やわらを風を起こして吹き飛ばす選別作業にも挑戦した。

中村光冨君(10)は「千歯こきは引き抜くのに力が必要で、昔の人は大変だったと思う」と苦笑い。飼牛代表(73)は「体験を通して福部の歴史や産業を知り、自分の言葉で語れるようになってほしい」と話した。

（野木 絢）

ふるさとワイド

千歯こきを使った脱穀作業に挑戦する児童

地元住民団体「浜湯山・多鯨ヶ池活性化委員会」（飼牛明代表）と共同で作った歴史読本を活用し、地域の

産業や歴史を調べてまとめる探究学習の一環。

「本社内」動画



2022年1月9日・10日に「いなびぴょんぴょんネット」で放映されました。

動画はホームページの「動画欄」で見えます。